

水稻情報

◆中干し、始められましたか？

現在の生育状況ですが、「コシヒカリ」や「みずかがみ」の早生品種の生育は、5月中下旬の低温や田植え時以降の強風の影響で、圃場によりばらつきがあります。

今後の管理は、浅水管理を基本とし、還元障害が出ているところでは軽い田干しが必要です。

茎数の増加に注意し、「中干し」が遅れないようにしましょう！

中干し開始の茎数と時期の目安

【時期】

移植時期	中干しの目安時期
5月上旬	6月中旬頃から
5月中旬	移植後1カ月後頃
5月下旬	移植後1カ月後頃

【1株当たりの茎数】

栽植密度(株/坪)	1株あたり茎数
70	14～15本
60	17～18本
50	20～21本

写真:還元障害が出ている圃場
下葉が黄色、株基が黒い、株が細い



写真:中干しの程度(ひび割れと足跡)



写真:置き苗。早急に撤去しましょう



◆いもち病に注意！

今年はいもち病が発生しやすい気象条件で、6月20日に病害虫防除所より、いもち病について「例年より早く発生し、発生量はやや多い」との発表がありました。いもち病の発生が心配なほ場等では、箱施用剤を使用しているも、下記を参考にいもち病の防除を計画ください。また、ほ場内に置き苗があると、いもち病の発生原因となるので早急に処分して下さい。

※プレミアム米・スタンダード米をにおいては、以下の剤を散布すると生産基準米から外れますので、使用前にご相談ください！

	農薬名	使用時期
予防剤	コラトップ1キロ粒剤12	葉いもち:初発10日前～初発時 穂いもち:出穂30日～5日前
	ゴウケツ1キロ粒剤	使用適期:出穂10～14日前頃 出穂5日目但し収穫30日前まで
治療剤	ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで
	トライフロアブル	収穫14日前まで

そういえば
置き苗を忘れていたな。
すぐに撤去
しよう！！



資材紹介【硫マグ25】

硫マグには、硫黄成分を含む苦土(マグネシウム)が配合されており、イネの生育が悪い時に施用することで生育促進効果が期待できます。**イネの還元障害(ヤミ田)など生育が停滞しているときに一度試してみてくださいはどうか？**



施用量: 10~20kg/10a

除草剤情報(中後期除草剤)

ノビエが残ったらクインチャー、ホタルイ・オモダカ等の広葉雑草が残ったらバサグラン、小さなクサネム・イボクサにはノミニー液剤が効果的です！

注: プレミア米・スタンダード米を生産されている方につきましては、クインチャー剤以外の中後期除草剤の使用は、生産基準から外れますのでご相談ください。

区分	薬剤名	使用時期	1年生雑草			多年性雑草
			ノビエ	ノビエ葉期	広葉	
中後期剤	レプラス1キロ粒剤	移植後14日後～収穫60日前	○	4葉期	○	○
	セカンドショットSジャンボMX	移植後14日後～収穫60日前	○	4葉期	○	○
	クインチャー1キロ粒剤	移植後7日～収穫30日前	○	4.0葉期	×	×
	バサグラン粒剤	移植後15日～55日 但し、収穫60日前まで	×	—	○	○
	クインチャーバスME液剤	移植後15日～収穫50日前	○	5.0葉期	○	○

クインチャー・レプラス・セカンドショットSの散布時は3～5cmの水深を保って下さい。散布後3～4日は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しはしないでください。
バサグラン・クインチャーバスは湛水状態で散布すると効果が薄れるので、**落水して**散布しましょう。

特殊除草剤紹介

薬剤名	使用時期	使用量	対照雑草	生産基準米
ノミニー液剤	移植後30日～ 収穫60日前まで	50～100ml/10a	クサネム・イボクサ	×

☆ロイヤント乳剤

5葉期までのノビエ、矢じり葉3葉期までのオモダカ、草丈60cmまでのクサネムやイボクサに対して効果のある新規成分リンズコアを配合した除草剤で、対象雑草をしっかりと枯らします。

中干後に畦畔沿いに生えてくるイボクサやクサネムに対しても効果的で、イネにかかっても問題ありません。

ただし、**ホタルイ・クログワイ**などのカヤツリグサ科には効果が劣るので、圃場に残った草の種類を確認してご使用ください。



使用方法: 10a当たり200mlの薬剤を100lの水に希釈し散布
使用時期: 移植後20日後からノビエ5葉期、但し収穫45日前まで
落水またはごく浅く湛水して散布

3,550円/200ml

◆穂肥の適期施用について

穂肥時期の判断は稲の幼穂長と、葉色を確認することが重要！
 コシヒカリは、穂肥の施用が早すぎると下位節間が伸びて倒伏しやすくなります。
 穂肥の多量施用や施用が遅れると玄米中のタンパク含量が多くなり、食味が悪くなります。
 なお、有機質の肥料は化成肥料より3～5日程度早めに施用していただく必要があります。

環境こだわり栽培に
 取組まれる方は
 化成窒素施用量
 (4kg/反)の上限に
 ご注意ください。

表：出穂前日数と幼穂長

出穂前日数	幼穂長 (mm)	備考
28日	0.3	
25日	1.0	倒伏しにくい品種「あきたこまち」「日本晴」などの穂肥時期
21日	2.0	
18日	5～10	倒伏しやすい品種「コシヒカリ」「滋賀羽二重糯」などの穂肥1回目
12日	40～60	
4日	-	倒伏しやすい品種「コシヒカリ」「滋賀羽二重糯」の穂肥2回目



幼穂2mm



幼穂10mm



土力UPチャレンジに取組む最後のチャンスです！

米の収量品質向上対策には

キーワードは

中干し時期の **けい酸加里** 施用がオススメです！

光合成能力

「けい酸加里プレミア34」の効果

- 根張りが良くなり、根の活性を維持
 …高温による乳白米の発生を抑制するなど異常気象に強くなる。
- 直立受光態勢が良くなり、光合成が盛んになる
- 稲体の表皮細胞を硬くする
 …いもち病の抵抗性を高める、倒伏しにくくする。

施用量：20kg/10a

施用時期：中干し期～出穂40日前までに



* H27年産 試験事例(湖北町)

出穂40日前頃は、地表面に沿って、うわ根が張っています。けい酸加里はこのうわ根に吸収されます！



大豆情報(土づくり編)

水田転作での大豆作付は、連作の有無に関わらず、作付のたびに地力が消耗し、収量の減少や品質低下が問題となります。**土壌中に有機物が多いと根粒菌の着生が増加し、収量・品質が向上しやすくなります**ので、堆肥等の有機物を施用し、地力を向上させる事が重要です。

大豆の生育に適した土壌pHは、6.0～6.5です。石灰質の土壌改良資材を投入し、生育に最適な土壌環境にします。併せて、大豆の生育(莢の伸長、子実の肥大)に必要なリン酸資材の施用も行います。↓↓↓↓↓↓

資材名	施用量	備考
新ふりかけ堆肥エコ	60～100kg	濃縮堆肥成分。散布量は通常堆肥の約1/10!
セルカオイスターミネラル	100kg	けい酸資材と有機石灰(セルカ)配合!
粒状ハレー28号	100kg	苦土石灰と重焼リンを配合
粒状苦土石灰	100kg	土壌の酸度矯正に効果的

◆大豆播種について

適期播種で大豆収量増 ～慣行栽培で6月中旬頃から播種を!～

大麦は収穫が早いため、大豆播種準備に十分な時間が持てます。**大豆は初期生育量の確保により収量増が見込めるため、遅れずに適期播種を実践してください。**

慣行栽培は6月下旬まで、密植栽培は7月上旬以降を目安に播種できるよう圃場準備を行きましょう。

播種時期前半の播種は、播種下限量、播種時期後半の播種は播種上限量で播種しましょう。

	里のほほえみ	ことゆたかA1号 ※密播栽培	オオツル
播種適期	6月中下旬	7月上旬	6月下旬～
播種量	5～6kg/10a	8kg/10a	5～6kg/10a

◆大豆播種後除草剤について

雑草が多いと大豆の生育が阻害されたり、コンバイン収穫の際に汚損粒の割合が高くなるので注意が必要です。初期生育を確保するためにも播種日前後の天気をチェックし効果的な除草剤散布をしましょう。

播種直後処理剤(10a当たり)

薬剤名	使用時期	薬量	希釈水量
エコトップP細粒剤F	播種後出芽前(雑草発生前)	4～6kg	-
エコトップP乳剤	播種後出芽前(雑草発生前)	400～600ml	100l
クリアターン細粒剤F	播種直後(雑草発生前)	4～5kg	-
クリアターン乳剤	播種直後(雑草発生前)	650ml	100l

大麦収穫後圃場で土壌分析してみていますか？

対象者

すべての農家

分析点数

1件あたり5点までとします。(5圃場)

土壌分析基本項目

水田:pH、CEC、りん酸、石灰、苦土、加里、けい酸

その他:pH、EC、CEC、硝酸態窒素、りん酸、石灰、苦土、加里

5点まで無料!



土壌分析 随時募集中!!
各地域のTAC担当までお気軽にお申し付けください!!

熱中症予防



夏の農作業で心がけること

1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

☀ 特に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう

2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう

☀ のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1~2杯以上を目安に水分補給しましょう

☀ 足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1~0.2%程度の食塩水(1Lの水に1~2gの食塩)、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう
※市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください。

☀ 休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう



3. 熱中症予防グッズを活用しましょう

☀ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう

4. 単独作業を避けましょう

☀ 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう

5. 高温多湿の環境を避けましょう

☀ 暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で、作業環境を確認しましょう。

☀ 作業場所には、日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょう

☀ 特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数(WBGT)が高くなるため、風通しを良くしたり断熱材を活用しましょう